

①今後、ごみ拾い活動に関する今後の計画について

栃木県生活協同組合連合会

会員名	計画がある場合はその計画を記入
よつ葉生協 とちぎコープ	現在、計画はありません
パルシステム 茨城 栃木	茨城県内（ひたちなか市平磯海岸）にてビーチクリーンを開催予定。（10/14（土）開催予定/組合員家族30組程度を募集する）
パルシステム 群馬	ゴミ拾いに関しては、群馬県の3センター周辺のごみ拾いとなりますが、5月30日のゴミゼロデーと年末に事業所の清掃と合わせて周辺のごみ拾い活動を毎年実施している。
栃木労働福祉事業団	小山事業所で、協栄流通（株）物流センターおよび外周の美化活動〔クリーン作戦〕に参加している。毎月一回実施。班の割り振りがあるので、今年度は、8月・12月に参加予定。

②栃木県から「ごみ拾いに関する取り組み計画が出された時に参加できるか」

会員名	参加について
よつ葉生協・とちぎコープ ・パルシステム茨城栃木 ・栃木労働福祉事業団	参加できる。
パルシステム 群馬	ごみ拾い計画の開催日や開催場所等に応じて、要員準備の判断をさせていただくことになろうかと思えます。佐野市や足利市を事業エリアとしていることから、これらの地域での取り組みには積極的に検討したいと考えています。

③プラスチック使用の削減について

会員名	リサイクル回収、商品や包材変更、マイバック使用などプラスチックの使用削減に関することについて、2022年度の取り組み・実績、2023年度の取り組み計画など
よつ葉生協	<p>2022年度取り組み PB調 調味類(醤油、めんつゆ、だしつゆ、ぼん酢)はビンのリサイクルを行っています【年間43,345本】 物流資材(バイオマス袋、紙袋、紙テープ【2021年度実績より年間実績3.5t減】) 一部のたまごでプラパックからモルトパックに変更した。【2021年度実績より年間200kg減】</p> <p>2023年度計画 PB調 調味類(醤油、めんつゆ、だしつゆ、ぼん酢)はビンのリサイクルを行っています。【年間計画45,000本】 物流資材(バイオマス袋、紙袋、紙テープ【2021年度実績より年間計画5.0t減】) 一部のたまごでプラパックからモルトパックに変更した。【2021年度実績より年間計画400kg減】</p>
とちぎコープ	<p>回収したペットボトルをリサイクルした再生プラスチックや、サトウキビやトウモロコシなどの再生可能かつCO2を増やさない資源を原料にした植物由来プラスチックを容器包装に活用することを推進し、容器包装に再生プラスチックあるいは、植物由来プラスチックを使用しているコープ商品はグループとして424品目に達しました。</p> <p>宅配では、個人別に仕分けた商品をプラスチック製の袋を薄くサイズも小さくしたことにより、年間2.88トンのプラスチック削減となりました。また、ミールキットの容器と精肉に使われる容器の軽量化により年間約84kgのプラスチックの使用削減に繋がりました。</p> <p>夕食宅配では、お弁当の汁漏れ対応のプラスチック製の袋を一部廃止し、弁当容器を全体をラップで包むことで袋を75%削減しました。</p> <p>店舗販売の「コープ産たまご」(2種類)について、容器の厚みを減らし「たまご」が入る凸凹部分や「たまご」の仕切りの形を見直したことにより、2022年度のプラスチック使用料を年間約3.36トンの削減に繋がりました。レジ袋では、2022年1月より素材をサトウキビ由来のバイオマスプラスチック25%配合品に切り替えました。また、マイバックの持参を呼び掛け、買い物かごでは、ペットボトルキャップを再利用した買い物かごをおもちゃのまち店に600個導入しました。この買い物かごは店舗や宅配で回収された一部のペットボトルキャップを使用し、従来の買い物かごと比較して新品のプラスチック原料の使用が買い物かご1個当たり30%削減されます。農産品では、一部のバラ(1個売り)販売商品を入れる袋の一部をプラスチック製から紙製の袋に変更しました。</p>
生活クラブ生協	<p>フォーク、スプーン、ナイフ、マドラー、ストロー、ヘアブラシ、くし、カミソリ、シャワーキャップ、歯ブラシ、ハンガー、衣類用カバーの提供はありません。</p> <p>ペットボトルは災害用品で扱う、水以外の取り組みはありませんプラスチック容器削減のため便容器の扱いです。「脱・石油由来プラスチック」などの対策については早期の検討をすすめ、具体的な行動を開始出来るよう努めます。</p>
パルシステム 茨城 栃木	<p>2022年度回収実績(茨城 栃木実績) カタログ・商品まとめ袋：回収率24.7%、米袋：44.3%、ペットボトル：61.9% 取り組み：プラ・リサイクル大作戦を2022年6月20日(月)～7月29日(金)6週間実施 2022年度は、104商品の容器包装の環境対応を行い、約215tのプラスチック排出量削減しました。約215tのうち、約160tはお料理セットの紙トレイ移行によるものです。(パルシステム連合会)</p> <p>2023年度回収目標(茨城 栃木目標) カタログ・商品まとめ袋：回収率23.0%、米袋：44.0%、ペットボトル：52.1% 取り組み：プラ・リサイクル大作戦を2023年4月17日(月)～6月2日(金)6週間実施</p>

<p>パルシステム群馬</p>	<p>グループとしてリサイクル回収やプラスチック削減に取り組んでいます。商品の容器包装での取り組みとしては、これまで232商品以上のパッケージを改良しプラスチックの削減をしています。実質的な使用削減のほかに、包材を再生PETへと転換させることや再生プラスチックの使用に取り組んでいます。ABパックの飲料用ストローもプラスチックから紙に変更している商品アイテムも増加させています。</p> <p>プラスチックのリサイクル回収につきましては、カタログを包むプラスチック袋や商品のまとめ袋の回収のほか、米袋、再生ペットボトルの回収を行っています。パルシステム単独ではなし得ることのできないプラスチック削減の取り組みについては、取引先メーカー各社と一緒に「プラスチック削減プロジェクト」を設置し、事例研究やノウハウの共有により、取り組みの推進をめざしています。</p> <p>■ 2022年度取り組み実績（取組期間：2022年6月～7月） 「みんなの戻すでCO2削減！～プラ・リサイクル大作戦2022～」 ※パルシステム全体取り組み 目的：「カタログ・商品まとめ袋」の回収率向上、プラスチック排出量、CO2排出量の削減への貢献を目指す。 参加方法：「あなたの戻す」を6ケタ番号で宣言！ 結果報告 ○参加人数 全体：33,416名（前年：63,691名／前年比：52.5%） 群馬： 822名（前年：1,418名／前年比：58.0%）</p> <p>2023年度の計画では、特にカタログや商品のまとめ袋の回収を強化することとし、容器包装リサイクルの推進に注力する予定としています。</p> <p>■ 2023年度取り組み実績（取組期間：2023年5月～6月）※すでに終了しているもの 「みんなの戻すでCO2削減！～プラ・リサイクル大作戦2023～」 ※パルシステム全体取り組み ○目的：プラスチック回収量を増加させ、年間の回収率向上、CO2排出量削減への貢献を目指します。 参加方法 【プラ・リサイクル大作戦】プラスチック資源を戻します』を6桁番号で宣言 結果報告 ○参加人数（宣言数） 全体：42,696名（前年：33,416名／前年比：139.2%） 群馬： 1,486名（前年： 822名／前年比：180.8%）</p> <p>● 今後の予定 群馬独自取り組み：プラスチック回収強化を含むリユース・リサイクル回収向上施策を9月に実施予定</p>
<p>栃木労働福祉事業団</p>	<p>エコアクション21の取り組みとして、自社で排出するビニール・プラスチック、廃プラスチックの排出量を把握し、廃棄物の削減とリサイクル化に取り組んでいる。2023年度計画：前年度同様にエコアクション21の取り組みを継続し、2022年度実績を上まらぬように努める。</p>